

ごみ減量・プロジェクト第2弾について

1 期間

令和2年度 から 令和5年度 まで

2 標語

～ “ともに取り組もう” シンカするごみ減量～

3 目標設定項目

(1) ごみ総排出量（集団回収含む）原単位

→ 一人一日当たりのごみ排出量を示すもの。

算出方法：ごみ総排出量÷人口÷365日（閏年は366日）

単位：g/人・日

(2) 焼却処理量原単位

4 削減目標値

(1) ごみ総排出量（集団回収含む）原単位

基準年度

令和元年度実績：845 g/人・日

目標年度

令和5年度目標：800 g/人・日

● 令和2年度から令和5年度までに 45 g/人・日の減量

● 年約 12g/人・日の減量

- ★食ロスでは
- ・大さじ1杯分（約15g）
 - ・乾燥わかめ1袋
 - ・ゆでたまご 1/3

- ★水切りでは
- ・2日に1回（約13g）



(2) 焼却処理量原単位

基準年度

令和元年度実績：651 g / 人・日

目標年度

令和5年度目標：628 g / 人・日

- 令和2年度から令和5年度までに 23 g / 人・日の削減
- 年約 6 g / 人・日の減量

★ 雑紙では

- ・ 新聞チラシ A4 1枚分
- ・ ハガキ 2枚
- ・ A4用紙 1.5枚分
- ・ トイレットペーパーの芯 1.5本



5 重点取組

- 優先順位案
- ① 雑紙
 - ② 食品ロス
 - ③ 水切り

6 参考

□ 食品ロス

国内の動向

食品ロス削減推進法：令和元年10月に施行

国の目標：2000年度比で2030年までに食品ロス量を半減

ごみ質分析調査結果(H28)

可燃ごみに含まれていた手付かず食品

→ 4.7%

一般廃棄物処理事業実態調査(H30)

家庭系ごみ厨芥類の内、過剰除去が3.5%、
食べ残しが4.1%

家庭系ごみの12.3%が食品ロス

□ プラスチック類

国内の動向

プラスチック資源循環戦略：令和元年5月策定

国の目標

- ① 2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制
- ② 2025年までにリユース・リサイクル可能なデザインに
- ③ 2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル
- ④ 2035年までに使用済プラスチックを100%リユース・リサイクル等により、有効利用
- ⑤ 2030年までに再生利用を倍増
- ⑥ 2030年までにバイオマスプラスチックを約200万トン導入

□ 古紙

ごみ減量・リサイクルに関するアンケート調査結果(H28)

古紙として分別すべきものを間違えて可燃ごみ入れたと回答
→ 古紙約34%

ごみ質分析調査結果(H28)

可燃ごみに含まれているリサイクル可能な紙類
→ 33.9%

□ 小型家電

ごみ質分析調査結果(H28)

不燃ごみに含まれている小型家電 → 20.7%